

IV

本市農林水産業の 概要及び現状と課題

IV 本市農林水産業の概要及び現状と課題

《農業》

【概要】

本市では、平野部、中山間部の広い範囲にわたり水稻・野菜・果樹・畜産などの多彩な農業が営まれています。

なかでも、「おおば」、「にら」、「みつば」、「水耕せり」などの施設野菜は、全国でも有数の産出額を誇る産品となっており、雇用労働力を生かした大規模企業的経営を実践する農業法人も多く、地域に密着した産業として発展しています。

さらに、近年では、温暖な気象条件や都市における豊富な雇用労働力を求め、県内外の農業企業が本市に参入し、大規模な園芸施設を建設するなど、新たな特産品の産出や雇用の創出による地域経済の活性化が図られているところです。

一方で、消費地に近い立地条件を生かし、高齢農業者や女性農業者等による直販所の運営、農産物の加工・販売、農業体験など、都市住民と農業者が一体となった農村の自然環境を守る取組が行われています。

【現状及び課題】

- ◆ 農業者の高齢化による生産意欲の低下、後継者などの担い手不足が更に進むとともに、農地の荒廃化など農業を取り巻く環境は更に厳しさを増しています。そのため、生産基盤の整備や農地の集積・集約化による農作業の効率化を推進することで、新規就農者や農業後継者、集落営農組織などの担い手を確保・育成し、競争力のある産地を確立することなどにより、農業所得の向上を図ることが必要です。
- ◆ 農業者の高齢化による集落コミュニティの維持が困難になりつつあり、食料の安定供給、地域資源の維持、伝統文化の継承、水源のかん養など、農業が有する多面的機能の低下が懸念されます。そのため、農業者と市民が一体となり、農地などの地域資源を確実に次世代へ継承していく取組が必要です。
- ◆ 人口減少社会の到来による食に関する市場規模の縮小が懸念されるとともに、テレワーク等の働き方改革などにより、ライフスタイルも大きく変化し、食に対する消費者ニーズの大きな転換点となっています。これらの消費者ニーズに対応するため、食と農の連携を図る中で地域の特性を最大限に生かした農産物や加工品づくりを推進するとともに、これらを積極的に情報発信していくことが必要です。

(1) 認定農業者*及び認定新規就農者*数

(令和3年3月末現在)

	野菜	花き	畜産	果樹	普通作*	工芸農作物*	複合経営*	計
認定農業者数	83	10	17	4	9	4	53	180
うち法人	36	3	9	0	3	2	13	66
認定新規就農者数	9	2	0	0	0	0	1	12

資料：大分市

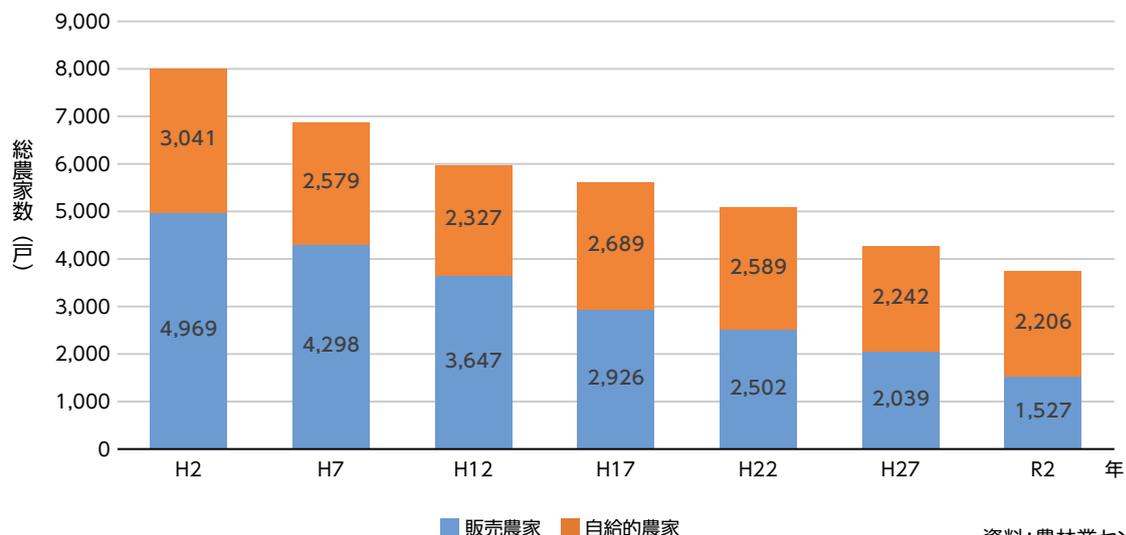
(2) 大分市主要農産物の生産状況

(令和3年3月末現在)

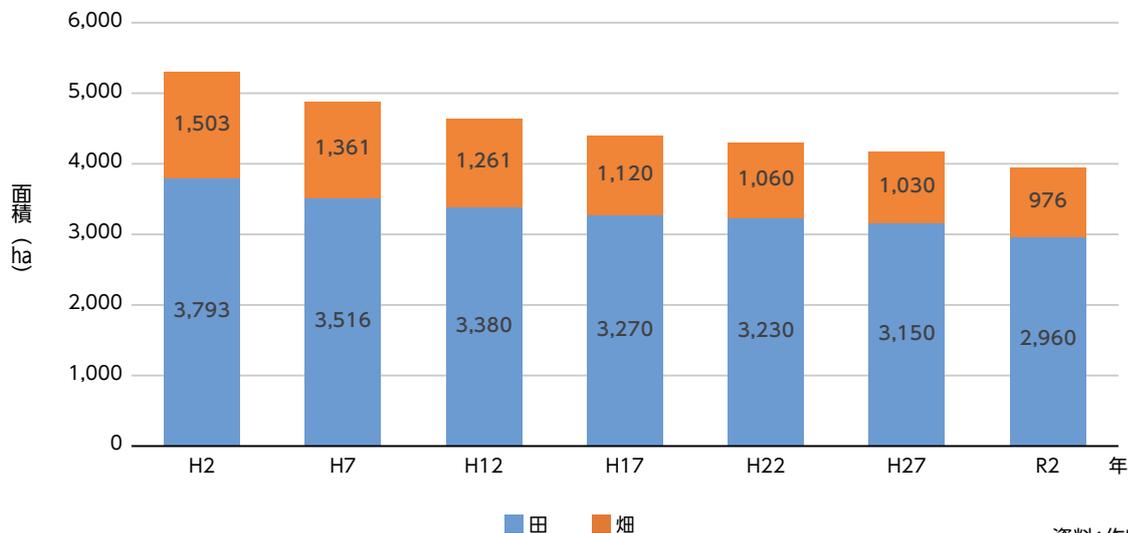
	面積・頭数	生産量	産出額(千円)
おおば	21.0ha	571.1t	1,453,909
にら	35.5ha	2,203.3t	1,185,962
みつば	6.5ha	588.8t	318,310
いちご	4.6ha	193.9t	222,031
水耕せり	2.0ha	142.3t	110,719
パセリ	1.3ha	35.8t	30,468
ピーマン	2.1ha	182.7t	78,409
乳用牛(生乳)	918頭	8,892.0t	1,053,490
肉用牛(和牛子牛)	197頭	123頭	82,940
計	-	-	4,536,238

資料:大分市

総農家数の推移

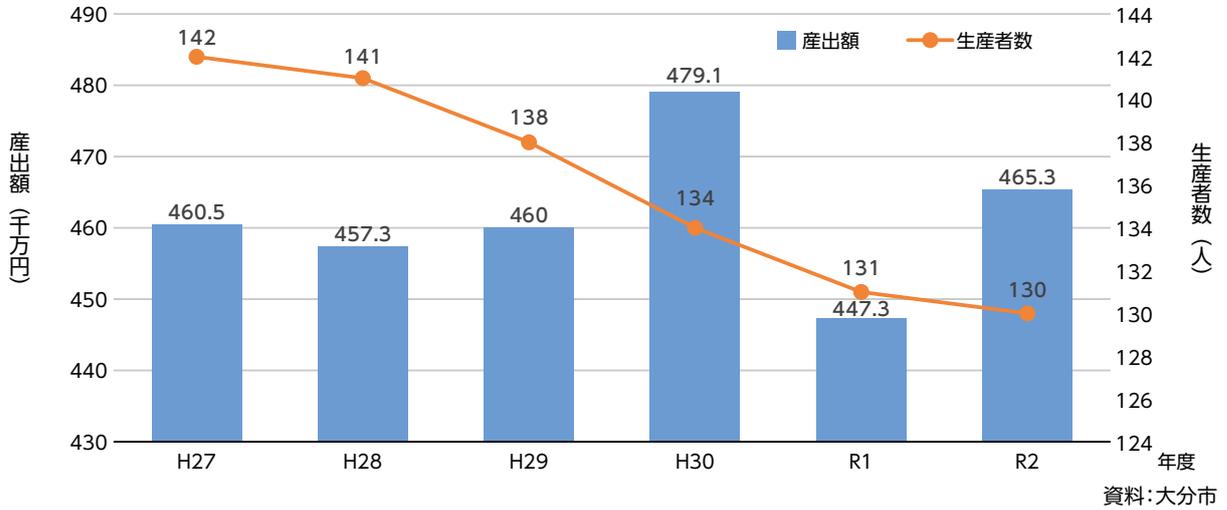


耕地面積の推移

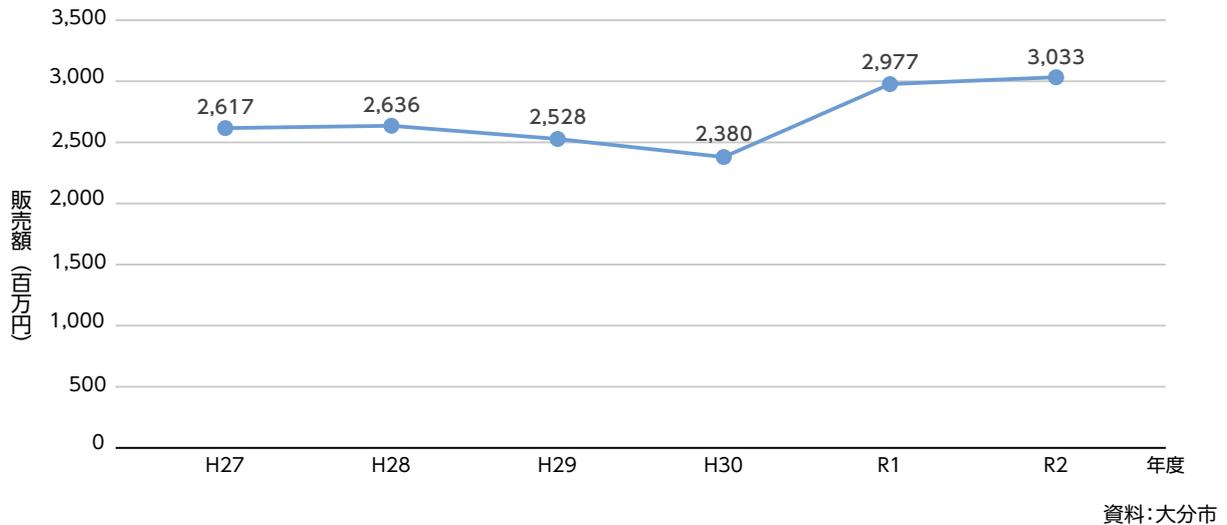


主要品目の産出額及び生産者数の推移

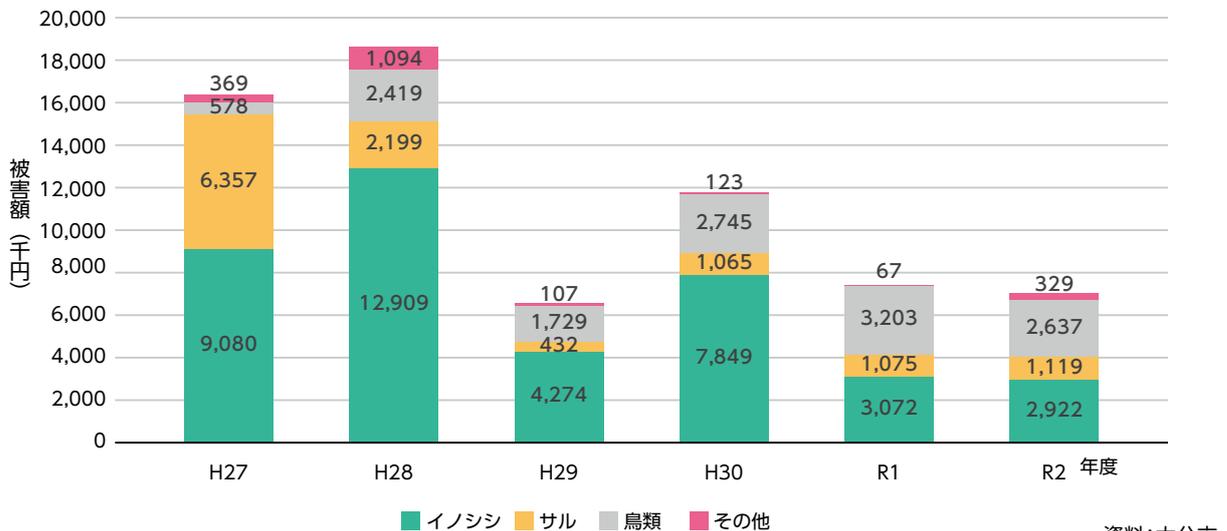
主要品目:おおば、にら、みつば、いちご、水耕せり、パセリ、ピーマン、乳用牛(生乳)、肉用牛(和牛子牛)



直販所・加工所における年間販売額



有害鳥獣被害状況



《林業》

【概要】

本市の森林面積は、市域面積の約半分を占めるものの、個別または個人の所有規模は小規模で分散的であり、大規模な林業経営は少ない状況となっています。また、森林のうち、スギやヒノキなどの人工林*が約4割を占め、戦後に植栽された人工林は成長し、木材として利用可能な森林が増加している状況です。

原木椎茸*については、水稲や畜産等の他品目との複合経営が多く、主に大南や野津原地域で生産されています。

林業を営む上で重要な生産基盤となる林道については、集落間を結ぶ生活道としても利用されるなど多目的な活用を期待されており、現在計画的に開設、舗装等を行っている状況です。

【現状及び課題】

- ◆長期にわたる木材価格の低迷や森林所有者の高齢化等により、林業経営は依然として厳しい状況が続いています。そのため、林業の担い手を確保・育成することで木材産業や森林経営の活性化を図るとともに、消費者ニーズに合った木材の生産と加工を推進し、これらを積極的に情報発信する取組が必要です。
- ◆採算が合わないことなどから放置された森林が増加しており、木材の安定供給や森林の多面的機能の低下が懸念されます。そのため、林業事業体*の経営基盤強化や市民、企業・団体等の森林保全活動、森林環境譲与税*の活用などにより、森林整備を持続的に行うための体制づくりが必要です。
- ◆椎茸生産者の高齢化や後継者不足が進み、生産力の低下が懸念されます。そのため、企業参入など新たな担い手の確保を図るとともに、気象条件に左右されない生産体制や供給体制の整備に加え、消費拡大への取組が必要です。

(1) 保有形態別森林面積

(令和3年3月末現在)

保有形態	総面積		立木地		人工林率(%) (B/A)	
	面積(ha) (A)	比率(%)	人工林(ha) (B)	天然林(ha)		
国有林*	621	2.5	471	108	75.8	
公有林*	県有林	1,621	6.7	1,192	317	73.5
	市有林	786	3.2	376	371	47.8
	計	2,407	9.9	1,568	688	65.1
私有林*	21,400	87.6	8,113	10,914	37.9	
計	24,428	100	10,152	11,710	41.6	

資料:大分市

(2) 素材*生産及び主な森林整備の状況

(令和2年3月末現在)

素材生産量(m ³)			間伐*面積 (ha)	植栽面積 (ha)
針葉樹	広葉樹	計		
27,832	856	28,688	90.18	21.1

資料:大分市

(3) 椎茸の生産状況

(令和3年3月末現在)

乾・生の別	生産量(t)	生産額(千円)	生産者数(戸)
乾椎茸	38	146,946	98
生椎茸	164.3	199,953	6

資料:大分市

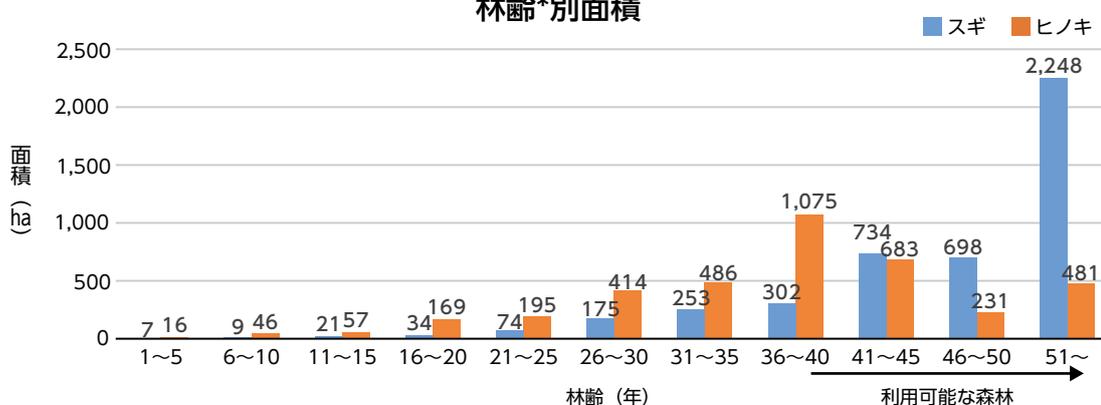
(4) 林道の整備状況

(令和3年3月末現在)

路線数(路線)	開設延長(km)	舗装延長(km)	舗装率(%)
72	137.7	116.4	84.5

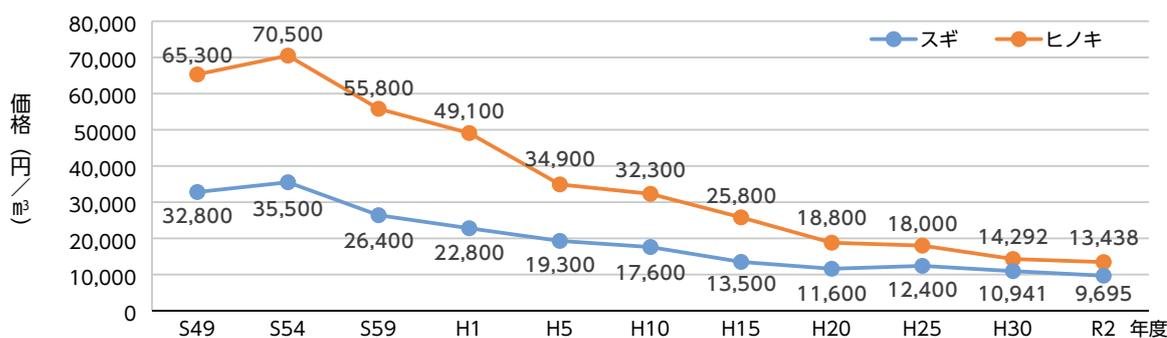
資料:大分市

林齢*別面積



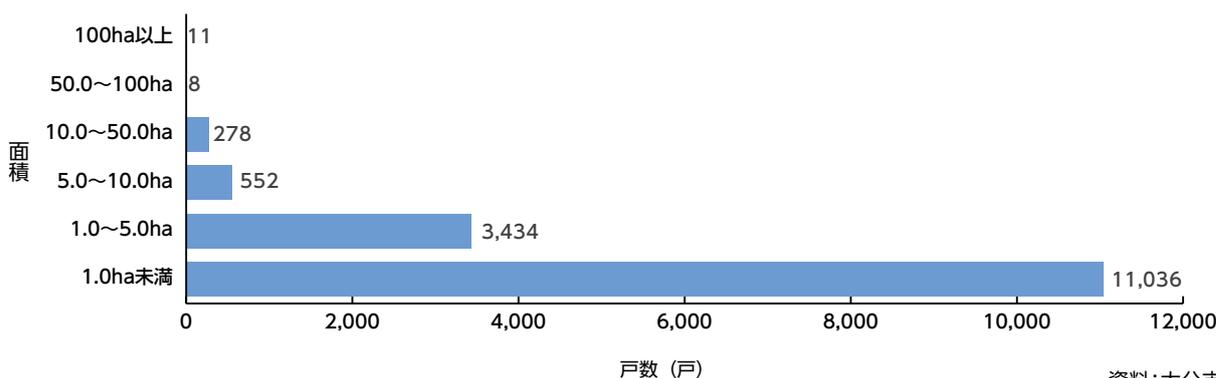
資料:大分市

素材生産価格(円/m³)の推移 (大分県)



資料:大分市

森林の所有規模別林家数



資料:大分市

《水産業》

【概要】

本市の水産業は、なだらかな海岸線の広がる別府湾域やリアス式海岸の豊後水道域における海面漁業*と、県内の二大河川である大分川および大野川での内水面漁業*に大別されます。

海面漁業のうち、別府湾域では、サワラやマダイなどを対象とした刺し網漁業*、マダコを対象としたたこつぼ漁業や一本釣り漁業*などが営まれています。また、豊後水道域では、全国ブランドとして高い評価を得ている「関あじ・関さば」を筆頭に、イサキ、ブリなどを対象とした一本釣り漁業やアワビ、サザエ、クロメなどを対象とした採貝藻漁業*などが営まれています。

そのなかでも、他の漁法と比べ、天然資源の維持を可能とする一本釣りや刺し網漁といった漁法が本市の海面漁業の特徴です。

内水面漁業では、アユ、ワカサギ、ウナギ、モクズガニなどを対象とした漁業が行われており、主に市内で消費されています。

このように本市では多種多様な魚介類*が漁獲されています。

【現状及び課題】

- ◆漁業者の高齢化と後継者不足は、今後の漁業活動において深刻な状況です。そのため、漁業者の所得向上や就業環境の改善に取り組むとともに、新規就業者対策を推進し、担い手の確保・育成を図ることが必要です。
- ◆他地区漁業者との競合等による漁獲量の減少、漁業資材費等経費の高騰、魚離れに加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で消費の中心である飲食店の休業等によるブランド魚の魚価の低迷も顕著となり、漁業経営が悪化しています。そのため、関係機関・団体が一体となって、資源の増大、消費拡大、流通体制の効率化を図るとともに、加工品開発など消費者ニーズに対応した供給体制づくりが必要です。
- ◆海面漁業では、環境の変化による藻場の減少、内水面漁業では河川改修等による漁場環境の変化が進んでいます。そのため、地域の特性に即した水産基盤整備や環境保全等に取り組み、漁場の回復や改良を進め、漁場環境の改善を図ることが必要です。

(1) 海面漁業主要魚種漁獲状況 (令和2年12月末現在)

魚種	漁獲量(t)	漁獲金額(千円)
ブリ	358.6	107,751
マアジ	109.6	159,344
内 関あじ	109.5	159,245
タチウオ	29.8	33,414
サワラ	80.3	55,580
マサバ	50.3	57,450
内 関さば	49.9	57,144
イサキ	32.5	34,758
マダイ	18.7	10,876
マダコ	19.3	17,545
サザエ	11.8	6,810
ヒジキ	30.0	24,463
その他	117.0	101,436
合計	1,017.3	825,814

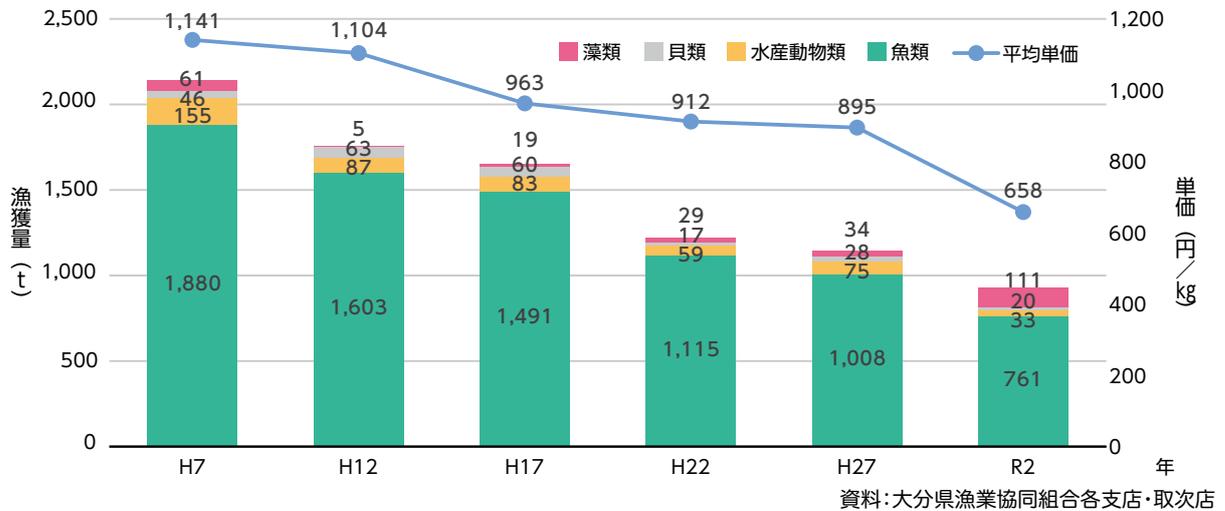
資料:大分市

(2) 内水面漁業主要魚種漁獲状況 (令和2年12月末現在)

魚種	漁獲量(t)
アユ	20.0
ワカサギ	8.2
フナ	1.1
ウナギ	1.4
モクズガニ	2.2
その他	9.2
合計	42.2

資料:大分市

種類別漁獲量と単価の推移 (海面漁業)



漁業協同組合員数の推移 (海面漁業)

